

科目名	アジアの観光地理	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			国際観光学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	Tourist Geography of Asia	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	よこた けいざぶろう	実務家教員 担当科目		修得単位	2単位
担当者名	横田 恵三郎	実務家教員 担当科目	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	日本とアジアとは長い交流の歴史がありますが、似て非なる地勢、歴史、文化、社会等を抱える各国の特徴について理解し知識を深めることをテーマとするが、その手段として日本を含め多くの世界遺産や無形文化遺産を擁するアジア各国の遺産と観光に触れつつ進めていくこととします。				
到達目標	各国の特徴ある地勢、歴史、文化や習慣についての理解を深めることが出来ます。将来、学生の皆さんがアジアの国々を訪問することを想定して、予め知っておいた方が良い基本的な知識が得られます。				
授業概要	アジア各国の基礎知識、世界遺産、無形文化遺産の仕組み、代表的世界遺産、文化や習慣等に関心を持ち理解できるように、画像、映像等をも活用しながら講義していくこととします。アジア各国にはそれぞれに特徴がありますが、それらを学習してアジアへの理解を深めていきます。				
授業計画					
第1回	ガイダンス アジアの定義				
第2回	アジア各国の国名・首都を正しくを知る 世界遺産とは				
第3回	復習テスト 世界遺産登録のプロセスと仕組み				
第4回	世界文化遺産、世界自然遺産、世界複合遺産とは①				
第5回	世界文化遺産、世界自然遺産、世界複合遺産とは②				
第6回	無形文化遺産、世界の記憶とは				
第7回	復習テスト 日本の世界遺産、無形文化遺産				
第8回	インドの観光地理と代表的世界遺産				
第9回	ベトナムの観光地理と代表的世界遺産				
第10回	タイの観光地理と代表的世界遺産				
第11回	インドネシア、マレーシアの観光地理と代表的世界遺産				
第12回	カンボジアの観光地理と代表的世界遺産				
第13回	中国・香港・マカオの観光地理と代表的世界遺産				
第14回	韓国の観光地理と代表的世界遺産				
第15回	まとめ				
第16回	定期試験				
授業時間外の 学習	基本的な内容について復習テストを行ないます。日頃から旅行番組や旅行雑誌に触れるようにして下さい。				
履修条件 受講のルール	海外旅行や短期・長期の留学を考えている人や将来アジアと関係する仕事に就きたいと思っている人は是非履修してください。各国はそれぞれ異なる特徴を有しています。夫々を混同させぬよう復習を怠らないこと。				
テキスト	毎回、関連する資料を配布します。				
参考文献・資料	授業中に紹介します。				
成績評価の方法	定期試験・復習テスト 50%、授業態度・取組姿勢 50%とし総合評価します。出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。				

オフィスアワー	水曜日：2 限(10：40-12：10) 木曜日：2～3 限(10：30-14：00)
成績評価の基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	観光関連企業への就職を考えている皆さんはもちろんのこと、一般企業であれ公務員であれ社会に出ると必ずや海外とりわけアジアの国々（人々）との関わりがでできます。その際に戸惑うことがないようにアジアの知識を身に付け、頭の中を整理しておきましょう。